# 株式会社光電気工事
# 環境経営レポート

Ｖｅｒ．17

2022 年度（2022 年 5 月 1 日～2023 年 4 月 30 日）

発行日：2023 年 7 月 31 日

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です
®環境省
エコアクション21
認証番号 0002271

共生社会へ
エコアクション21
株式会社
光電気工事

本『光電気工事環境活動レポート』は、
エコアクション 21 の実施結果を取りまとめたものである。

2023 年 7 月 31 日
株式会社　光電気工事　代表取締役　望月邦倫

**1.環境経営方針** ..... 3

基本理念
基本方針

**2.組織の概要** ..... 4

組織概要
実施体制

**3.環境経営目標とその実績** ..... 6

環境目標
実　績
主な環境経営計画の内容及び取組結果の評価
次年度の取組内容

**4.環境関連法規等の取りまとめ** ..... 8

**5.代表者による全体の評価と見直し・指示** ..... 9

# 1.環境経営方針

## 基 本 理 念

株式会社光電気工事は、電気設備工事及びそれに付帯する一切の業務を通じ、
地域社会への貢献を目指し、全社員で安全かつ人と環境に優しい技術を提供することにより
地球環境の保全に配慮した課題とチャンスを踏まえ、よりよい企業経営活動を行います。

## 基 本 方 針

### 1 企業責任の遂行
環境経営システムガイドラインの要求事項に適合した環境経営システムを構築・運用し、
継続的改善に努めます。

### 2 環境負荷の削減
事業所及び工事現場において、CO2排出量・水使用量・廃棄物排出量を削減するために、
具体的な数値目標を設定し、
省エネ・省資源及び廃棄物リサイクル化に向けて積極的に取組みます。

### 3 環境関連法規の遵守
常に最新の情報をチェックし取りまとめ、自主的な目標値を定めて管理します。

### 4 お客様への『省エネ提案』と『省エネ設備施工』
お客様への電気設備提案時には、環境負荷を削減する為の
『省エネ提案』を積極的に行います。また、省エネ設備の施工を積極的に行います。

### 5 情報公開
社会的な説明責任に基づき、真摯な姿勢で環境経営レポートを取りまとめ、公表します。

### 6 社員教育
社員等への教育・啓蒙活動を通して、よりよい企業活動の向上を図ります。

改訂：2019 年 5 月 1 日
制定：2007 年 9 月 1 日
株式会社　光電気工事　代表取締役　望月邦倫

# 2.組織の概要

## 事業所及び代表者

株式会社　光電気工事
代表取締役　望月邦倫

## 所在地

静岡市駿河区中田４丁目４－７
ＴＥＬ　０５４-２８２-１６４０　　ＦＡＸ　０５４-２８３-９０２２

## メールアドレス

hikari-denki@mail.wbs.ne.jp

## 環境管理の責任者及び担当者

環境管理責任者　佐藤真規子（連絡先：054-282-1640　　hikari-denki@mail.wbs.ne.jp）

## 事業活動の内容

電気設備工事

## 認証・登録範囲

全事業活動・全組織

## 事業の規模

従業員数　8 名
資本金　　1,500 万円
売上　　9,353 万円/年（2022 年度）
工事件数　507 件
　　（2022 年 5 月～2023 年 4 月）
床面積　　197 ㎡(事務所 92 ㎡・倉庫 105 ㎡)。※駐車場は含まない。

## 許認可

電気工事業　登録静岡県知事 46183 号
建設業許可　静岡県知事　一般 28　008126 号
産業廃棄物収集運搬業許可　静岡市長 06201220809 号（但し自社運搬のみ）

## 設立・沿革

昭和 44 年 5 月創業、昭和 45 年 1 月有限会社光電気工事として法人組織に変更、
昭和 50 年 6 月株式会社になる。

**代表取締役**

**望月邦倫**

① 環境方針の策定
② 管理責任者の任命
③ 資源の用意
④ システムの見直し・指示
⑤ 実施体制の構築
⑥ 経営における課題とチャンスの明確化

**環境管理責任者**

**佐藤真規子（兼務）**

システムの運用・管理を行うとともに、代表者への実績の報告をする。

**工事部門**

現場管理者

**川口　徹**
**榊原　稔**
**望月　聡**
**山本　祐一**

- 工事現場での作業廃棄物の削減。
- エコドライブ
- 洗車時の節水

協力会社

**事務部門**

**佐藤真規子（兼務）**
**薩川景子**

- 事業所ゴミの分別
- 事務所の節電・節水
- 書類のデータ化

**担当者**

苦情・相談受付窓口

**望月由紀江**

文書の作成・管理及び運用上の事務管理を行う。

# 3.環境経営目標とその実績

## 環境経営目標

| 項目 | | 単位 | 基準年 | 短期目標 | 中期目標 | 中期目標 | 長期目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年度 | | | 2017年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 期間 | | | H29.5～H30.4 | R4.5～R5.4 | R5.5～R6.4 | R6.5～R7.4 | R7.5～R8.4 |
| 2017年度比 | | | - | -2.0% | -2.0% | -2.5% | -2.5% |
| CO2 | 電力使用量 | kwh | 17,525 | 17,175 | 17,175 | 17,087 | 17,087 |
| | 都市ガス使用量 | ㎥ | 927 | 908 | 908 | 904 | 904 |
| | ガソリン使用量 | ℓ | 7,437 | 7,288 | 7,288 | 7,251 | 7,251 |
| | 軽油使用量 | ℓ | 821 | 805 | 805 | 800 | 800 |
| | 総排出量 | kg-CO2 | 28,254 | 27,689 | 27,689 | 27,548 | 27,548 |
| 水 | 水使用量 | ㎥ | 318 | 312 | 312 | 310 | 310 |
| 廃棄物 | 産業廃棄物排出量 | kg | 4,238.00 | 4,153.24 | 4,153.24 | 4,132.05 | 4,132.05 |
| 省エネ設備施工 | | 件 | 7 | 9 | 9 | 10 | 10 |

※環境目標の基準年として2017年度を採用しており、
二酸化炭素の排出係数は、中部電力H29年度調整後排出係数0.472(kg-CO2/KWH)を使用してます。

## 実績

| 年度 | 2022年度 |
|---|---|
| 期間 | 2022.5.1～2023.4.30 |
| 工事件数 | 507件 |
| 2017年度比 | -2.0% |

| 項目 | | 単位 | 目標 | 実績 | 目標に対する増減率 | 評価 | 考察 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| CO2 | 電力使用量 | kwh | 17,175 | 17,779 | 3.52% | △ | 照明の消灯、冷房の設定温度を1度下げるよう心掛ける。 |
| | 都市ガス使用量 | ㎥ | 908 | 643 | -29.19% | ◎ | 暖冬の影響のため、ガスストーブの使用頻度が少なかった。 |
| | ガソリン使用量 | ℓ | 7,288 | 7,866 | 7.93% | △ | 民間工事の件数が増え、遠距離の現場も増えたため。 |
| | 軽油使用量 | ℓ | 805 | 684 | -14.99% | ◎ | 高所作業車やトラックの出動が減ったため。 |
| | 総排出量 | kg-CO2 | 27,689 | 29,795 | 7.60% | △ | 電気使用量をさらに見直す必要がある。 |
| 水 | 水使用量 | ㎥ | 312 | 286 | -8.33% | ○ | 洗車等よく水を使う際には節水を心がけている。 |
| 廃棄物 | 産業廃棄物排出量 | kg | 4153.24 | 4535.40 | 9.20% | △ | 改修工事が増えたため。 |
| 『省エネ設備施工件数』 | | 件 | 9 | 7 | -22.22% | × | 目標に件数には届かなかったが、太陽光の売電価格が下落してる割には件数が増えてると思う。工務店の営業努力による。 |

※評価の基準:◎-10%以上、○-9%～-1%、△±0%～+9%、×+10%以上。
※目標値のCO2排出係数は、0.472kg-CO2/KWh(中部電力平成29年度調整後排出係数)を使用。
※増減率(%)=(目標-実績)/目標×100

2022 年度(2022/05/01～2023/04/30)

## 主な環境経営計画の内容及び取組結果の評価

### 1. 電力使用量の削減 （担当責任者：佐藤真規子）

○ 蛍光灯掃除：年末　→評価：◎
○ 不要な照明の消灯　→評価：◎
○ エアコンの温度設定→評価：△

**→エアコン利用について、空気環境もあわせて積極的に話し合っていきたい。**

### 2. 車両用燃料の削減 （担当責任者：望月邦倫）

○エコドライブの実施→評価：○
○定期的に車両整備を行う→評価：◎

**→エコドライブ、車内の整理整頓や、安全運転を心掛けるよう、声掛けを実施しました。**

### 3. 水使用量の削減 （担当責任者：佐藤真規子）

○ 水の節約【洗車時・掃除時】→評価：○
○ 給・配水管の点検　→評価：○

**→雨水利用等を検討していきます。**

### 4. 廃棄物排出量の削減 （担当責任者：佐藤真規子）

○ コピー用紙の両面使用→評価：△
○ 廃棄物の分別を実施　→評価：○
○ データ電子化を利用し用紙を削減→評価：◎

**→資材の梱包材の削減について関係各社と検討していきます。**

### 5. 省エネ設備の施工件数 （担当責任者：佐藤真規子）

**→太陽光発電設備についての施工実績をカウントしました。HEMS や蓄電池等の設備も提案・施工するよう、勉強会への参加に努めます。**

○勉強会への参加　→評価：△

**対象期間：2022 年 5 月～2023 年 4 月**
**（評価の基準：◎＝目標以上　○＝現状維持　△＝要努力　×＝要見直し）**

## 次年度の環境経営計画

1. **電力使用量の削減**〇蛍光灯光灯掃除：年末〇不要な照明の消灯〇エアコンの温度設定
2. **車両用燃料の削減**〇エコドライブの実施〇車両整備
3. **水使用量の削減**　〇水の節約【洗車時・掃除時】〇給・配水管の点検
4. **廃棄物排出量の削減**　〇コピー用紙の両面使用〇廃棄物の分別を実施〇データ電子化
5. **省エネ設備の施工件数**〇提案力強化のため、勉強会へ出席する

※2022 年度と同じ

# 4.環境関連法規等の取りまとめ

## 環境関連法規等遵守状況チェック表

★チェック日：2022 年 10 月 30 日　　確認：佐藤真規子

| 項目<br>法規制等 | 遵守事項 | 遵守・適用状況 |
|---|---|---|
| 環境基本法 | 基本理念、環境基準 | EA21 の取組　〇 |
| 循環型社会形成推進基本法 | 循環型社会形成の基本原則 | EA21 の取組　〇 |
| 資源有効利用促進法 | 3Rの促進の努力義務 | EA21 の取組　〇 |
| 家電リサイクル法 | エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機の処分時は指定リサイクル業者へ委託 | 対象なし |
| 建設リサイクル法 | 対象建設工事の届出・契約<br>分別解体業務<br>再資源化義務・報告 | 対象工事なし |
| 自動車リサイクル法 | 車両の購入・売却・廃車時に手続き | 対象なし |
| 廃棄物処理法 | ＜産業廃棄物の適正管理＞<br>処理委託契約書の締結・管理・許可証の確認<br>マニフェスト伝票の管理（A、B2、D、E 票）<br>マニフェスト伝票交付状況の報告(毎年 6 月 30 日迄)<br>水銀使用製品産業廃棄物の適正な管理と処理<br>保管場所掲示 | 〇<br>〇<br>〇<br>〇<br>〇 |
| 静岡市産業廃棄物の適正な処理に関する条例 | 廃棄物管理責任者の選任（届出不要）<br>委託先業者の現地確認（1回/年以上） | 〇<br>〇 |
| フロン排出抑制法 | 冷凍空調機器：全ての第一種特定機器が対象<br>自身での「簡易点検（3ヶ月に 1 回以上）」実施<br>記録は機器廃棄後 3 年間保管する。<br>企業・法人の管理者が確認 | 〇 |
| 小型家電リサイクル法 | 使用済小型電子機器等の再資源化の促進 | 対象なし |

上記のリストに従って遵守状況をチェックした結果、環境関連法規への違反はありませんでした。
また、過去３年間関係当局及び近隣より、違反・苦情・訴訟等はありませんでした。

# 5.代表者による全体の評価と見直し・指示

社　名：　株式会社光電気工事

| 「環境管理責任者から代表者への報告内容」 | 責任者氏名 | 佐藤　真規子 |
|---|---|---|
| | 作成年月日 | 2023 年 07 月 30 日 |

| 見直し関連情報 | 項　　目 | | 確認（必要に応じ評価・コメントを記載） |
|---|---|---|---|
| | 1 | ＥＡ２１文書 | ☑ |
| | 2 | 環境経営目標及び目標達成状況 | ☑ |
| | 3 | 環境経営計画及び取組実施状況 | ☑　順調 |
| | 4 | 環境関連法要求一覧及び遵守状況 | ☑　10/30 確認済 |
| | 5 | 外部コミュニケーション・対応記録 | ☑　ありません |
| | 6 | 問題点の是正・予防処置の実施状況 | ☑ |
| | 7 | 取引先、業界、関連行政機関、その他の外部動向 | ☑道路照明灯の一斉 LED 化工事が進められてる。 |
| | 8 | その他 | □ |

| 「代表者による全体の評価と見直し」の結果 | 代表者氏名 | 望月　邦倫 |
|---|---|---|
| | 作成年月日 | 2023 年 7 月 30 日 |

| 代表者による全体の評価と見直しの指示 | | |
|---|---|---|
| | **全体評価**<br>(環境経営システムの有効性、環境への取組の適切性等) | 全体的に工事の件数は増えてきてるが新築の件数が減少しており、リフォーム物件が増えてきている。そのため、混廃の量も多少増加している。また、遠方の現場も時々あり、ガソリンの消費も増加している。上記の要因により CO2 排出量も増えたが、省エネ設備の推奨や商品を積極的に取り入れて CO2 削減に貢献できるよう努めていきたい。 |

| 見直し項目 | | 変更の必要性 | 変更［有］の場合の指示事項等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 環境経営方針 | 無 | |
| 2 | 環境経営目標と計画 | 無 | |
| 3 | 環境経営計画と取組み項目 | 無 | |
| 4 | 環境に関する組織（実施体制等） | 無 | |
| 5 | その他のシステム要素 | 無 | |
| 6 | その他<br>(外部への対応等) | 無 | |